

別添2

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：保育所

事業所名：飯綱町立りんごっ子保育園

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】内容評価項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b)	■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。	[取り組み状況] 「未来(あす)を生きる力を育てる」理念に基づき、保育課程が編成され、提供する養護・教育・食育・健康等について、年齢別・地域の実態を踏まえた総合的な計画となっている。
					■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。	
		■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。	□ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。	□ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。	[改善課題] 日々の保育に係わる現場職員の参加で、子どもの状況や発達状況を踏まえた保育課程の作成、評価の実施となれば、更に実践的、継続的な保育が期待できると思われる。	
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a)	■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。	[取り組み状況] 木の素材をふんだんに使用し、ゆったりと安全、清潔な環境を整備している。各保育室は畳スペースもあり、生活に相応しい場の提供である。また、トイレは和・洋両方の設置で、家庭に合わせた使用方法を学ぶことができる。さらに、広い園庭や豊富な遊具・玩具・絵本、各場面で確認できる職員の手作り用具・玩具等、楽しい環境となっている。
■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。	■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。				■ 9 内装等には、木材を利用している。	
			② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	[取り組み状況] 心を寄せ、子どもの思いを受けとめ、受容的な関わりとなるように努めているが、時には言葉での制御などの面もあり、自己評価実施時に振り返るようにしている。
		■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。			■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。	
					□ 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。		b)	<input type="checkbox"/> 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。	[取り組み状況] 未満児においては個別指導計画に盛り込み、一人ひとりに適した助言を行っている。各年齢別の年間、月間指導計画において、長期的な見通しで基本的な生活習慣を身に付けられるよう取り組んでいる。 [改善課題] 保護者と連携し、家庭の状況と歩調を合わせながらの本人に適した援助や指導となるように、職員同士が統一した内容で対応することが必要であろう。
<input checked="" type="checkbox"/> 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。						
<input type="checkbox"/> 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。						
		④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。	[取り組み状況] 子どもの主体的な活動に注力したり、広いホールを活用して異年齢児との交流も盛んに行っている。 また、信州型やまほいく認定園という事もあり、園外へ出での自然とのふれあいの時間も多とっている。 [改善課題] 子どもの主体性・自発性を高める際は、安全・安心を保障することも大事ではあるが、失敗から学ぶ事も多いはずである。年齢に合わせた園内でのルールや、地域・住民との交流・接触、園外活動などの際の社会的ルールなど、子どものわかる言葉で理解を進める取り組みは、集団・個人を問わず、子どもの社会的育ちに大いに貢献すると思われる。
<input checked="" type="checkbox"/> 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。						
<input type="checkbox"/> 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。						
<input checked="" type="checkbox"/> 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。						
					⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。						
<input checked="" type="checkbox"/> 36 子ども表情を大切に、応答的な関わりをしている。						
<input checked="" type="checkbox"/> 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。						
<input checked="" type="checkbox"/> 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。						
<input type="checkbox"/> 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。						

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
		⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a)	<input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 41 探索活動が十分にできるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>未満児用の園庭があり、室内は陽当たりも良く、明るく広い遊びの空間がある。また、床暖房などの十分な設備が整えられている。</p> <p>保育士による牛乳パックを利用した手作りの机や椅子もあり、集団の中で安心して自分らしさを出すことができている。</p> <p>そこでは、子どもの目線での保育を行い、子どもの育ちを見守っている。</p> <p>毎日、家庭との連絡帳を通して、また、部屋までの送迎を通して子どもの成長を喜び、共有している。</p>
		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>信州型やまほいくを実践し、近くの神社や学校に散歩に行き、拾ってきたどんぐり・落ち葉での創作やおもちゃ作りを楽しみ、雪が降るとかまくら作りや雪遊びなど、戸外での遊びを多くとり入れている。</p> <p>3～5歳児は月1回、外国人講師の「英語であそぼう」、また、4・5歳児は月1回の体操講師の「わくわくスポーツタイム」でも運動の機会がある。</p> <p>[改善課題]</p> <p>子どもが主体的に活動するこれらの取り組みを、予定だけでなく目的や意図も併せて保護者等だけでなく地域へも伝えることも必要と思われる。</p>
		⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		a)	<input checked="" type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input checked="" type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>管轄部所の教育委員会による「はぐくみサポート事業」では、5歳児になると全保護者に「おたずね票」を配布しており、園に訪問し「すこやか相談」が実施されている。</p> <p>そして、配慮が必要とされる子どもの保護者等には、臨床心理士・発達支援員・療育コーディネーターが相談に応じ、早期に発見し医療に繋がるようにしている。</p> <p>また、発達障害支援アップ講座などの出前講座も催しており、配慮を必要とする子どもの家庭や関係機関との連携もとっている。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>[取り組み状況] 長時間保育は未満児と3歳以上児に分かれて行われており、3歳以上児は玄関の近くで送迎が便利な長時間保育専門の部屋でゆったりと過ごすなど、環境が整っている。 また、夕方6時30分頃には、おやつなどの軽食も提供されている。</p> <p>[改善課題] 日中保育・長時間保育間における子どもの連絡事項については、口頭で済ますことなくノートなどに記載するなどして、文書等での連絡・報告を習慣化していくことが望まれる。 この事は保護者等へも同様である。</p>
			⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a)	<input checked="" type="checkbox"/> 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	<p>[取り組み状況] 毎月、園に学校新聞が送付されて来ており、学校からの就学前教育計画も作成されている。 相互交流・連携として、学校行事の運動会・音楽会・ふれあい祭りなどの際は園としての参加もしており、学校長・教頭・担当係などの保育参観もある。 また、小学校・保育園との連絡も密で、行政の謳う「0歳児から18歳までの子どもの一貫した良質な生育環境」作りに励んでいることが理解できる。</p>
	(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	<p>[取り組み状況] 年間保育計画を立てており、月別保健目標の計画を立案し、配慮すべきことなども記録されている。 毎月行われる発達測定も保護者に知らせ、AEDの取り扱いの研修は保育士も受けている。</p> <p>[改善課題] SIDSや窒息のリスク、応急処理に関する知識の研修参加、また、保護者へもそれら情報の提供は必要であろう。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 <input type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	<p>[取り組み状況] 内科・歯科の検診を年2回、年中児は視力検診もっており、健診の結果は各家庭に報告をしている。また、食後のブラッシングは砂時計を利用している。</p> <p>[改善課題] 検診の結果、観察を要する子どもについては治療証明を確認することは必要であろう。また、ブラッシングは食事中の子どもがいる机でするのでなく洗面台の椅子で行い、正しく磨けているのかの保育士の確認も必要であろう。</p>
					③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b)
	(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input type="checkbox"/> 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 91 食器の材質や形などに配慮している。 <input type="checkbox"/> 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
			② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b)	<input type="checkbox"/> 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものとしている。 <input type="checkbox"/> 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 <input checked="" type="checkbox"/> 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 <input type="checkbox"/> 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	<p>[取り組み状況] 年齢に応じた野菜作りは地域の人の力も借りて、トマト・オクラ・さつまいも・大豆などを作り、給食の献立にも使用している。自分たちで作ったものとの意識や食事中的の話題ともなり、食への関心も高まっている。 また、給食の食材は近くの直売所から納品することもあり、地産・地消に心がけている。 調理員・栄養士も子どもと一緒に給食を食べることもあり、その際は子どもの声をよく聞くように心がけている。</p> <p>[改善課題] 衛生管理のマニュアルは作成されており、全職員の共有化が望まれる。また、好き嫌いの改善・克服は園と家庭との共通した対応が求められ、食育に関しての連携は欠かせないと思われる。</p>
	2 子育て 支援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b)	<input type="checkbox"/> 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 <input type="checkbox"/> 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	<p>[取り組み状況] 毎月、園だより・クラスだよりを発行して子どもの様子を伝え、保護者と共に子どもの成長を喜び、共有できるように心がけている。未満児は食事・排泄など、毎日連絡帳を通して共有しているが、3歳以上児は必要に応じての連絡の記入である。</p> <p>[改善課題] 3歳以上児の連絡は出席ノートと一緒に連絡事項に記入しており、頁がなくなると補充貼布しているが、連絡帳としてのノートの活用が期待される。</p>
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b)	<input type="checkbox"/> 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 112 相談内容を適切に記録している。 <input type="checkbox"/> 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	<p>[取り組み状況] 年間3回の保育参観日を作り、子どもの成長の様子を見てもらったり、保護者に講演会を催し理解を深めている。また、希望する保護者には面接相談の仕組みもある。</p> <p>[改善課題] 面接相談の体制の充実やそのマニュアルを作り、内容についても全職員で共有し把握することが期待される。 また、相談・援助技術の研修も必要であろう。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 115 虐待等権利侵害の可能性があると感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input type="checkbox"/> 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 <input type="checkbox"/> 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	<p>[取り組み状況] 朝の視診や発育測定、日々の子どもの様子や送迎時の様子などで注意深く把握するように努めている。</p> <p>[改善課題] 虐待や子どもの権利についての研修の実施、子育てに関わる地域の関係機関への積極的な関わりや地域でのネットワーク作りをとおして、職員間での知識・意識の共有を図る取り組みが期待される。</p>
	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り（自己評価）を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	<p>[取り組み状況] 保育上の自己点検、評価の為のチェックリストで子どもとの接し方、保育士のあるべき姿など90項目の評価改善点などを書き出して、質の向上に努めている。</p> <p>[改善課題] 保育実践を常に振り返り、保育内容に活かされていく新たな取り組みや内容の充実が必要と思われる。</p>